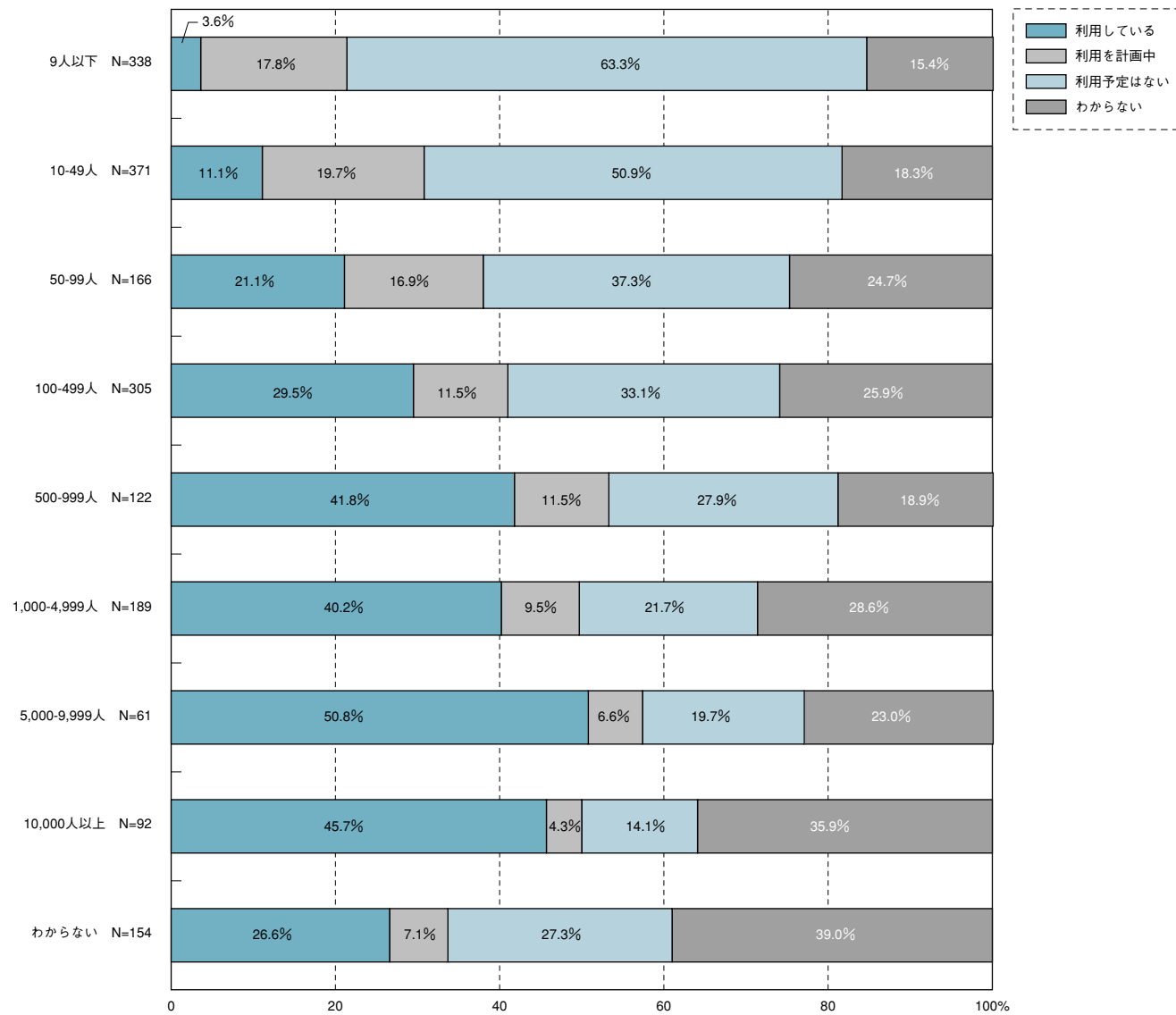


VPNと広域イーサネット

IP-VPNは着実に普及、大企業では半数以上が利用

資料3-1-18 従業員規模別 IP-VPNの利用有無 N=1,798



©Access Media /impress,2003

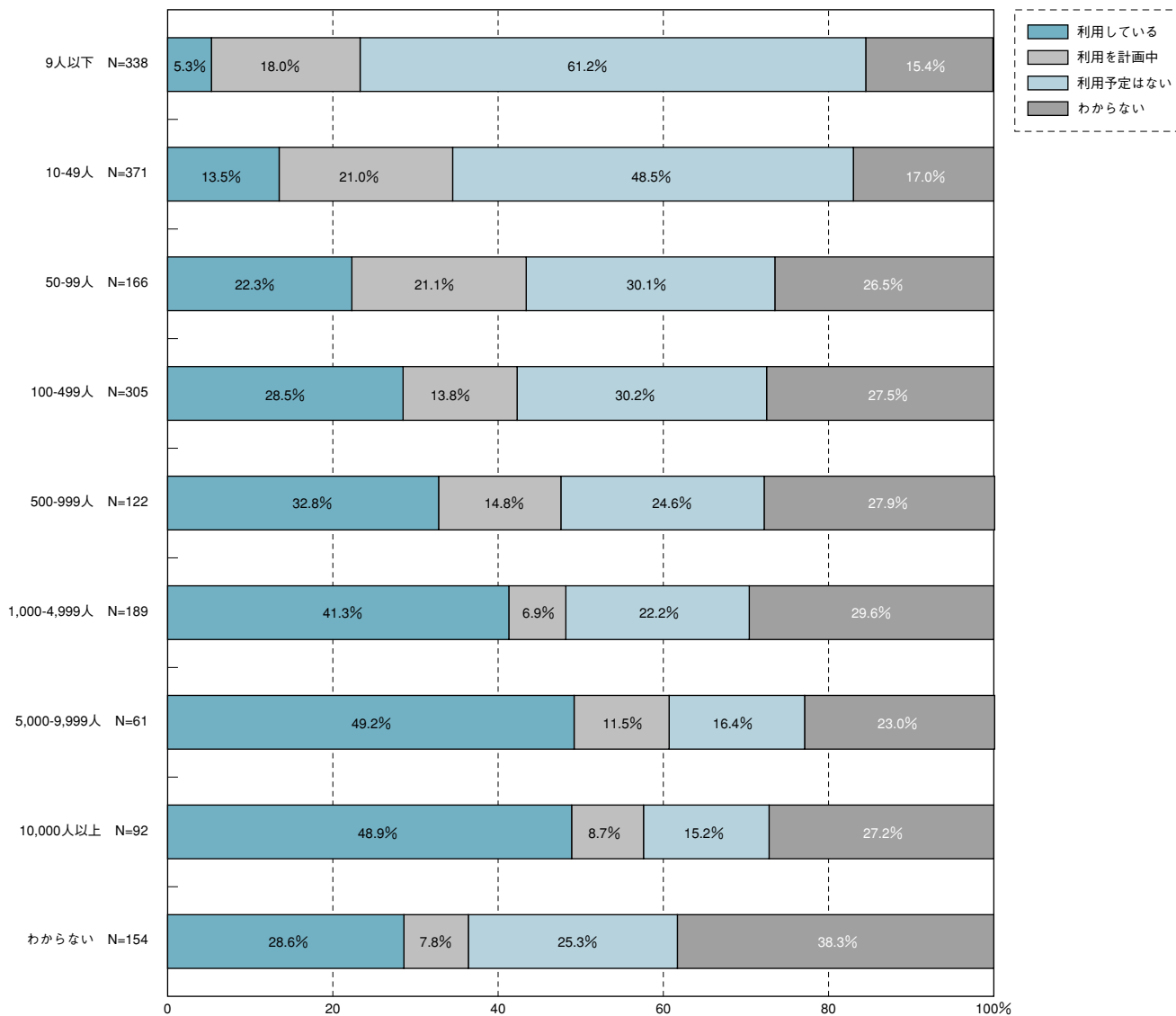
IP-VPN (IP Virtual Private Network) はプロバイダー等が持つ閉域IP網でVPNを利用するもので、閉域網であることから安全性が高まると考えられ、企業が自社専用線から乗り換える際にも安心できる点がメリット。利用意向は企業規模と比例し、5,000-9,999人の層では既に半数以上が利用中という高い普及率を示した。

日本の普及状況
個人の利用実態
企業の利用実態
海外の普及状況

VPNと広域イーサネット

インターネットVPNも大企業が利用

資料3-1-19 従業員規模別 インターネットVPNの利用有無 N=1,798



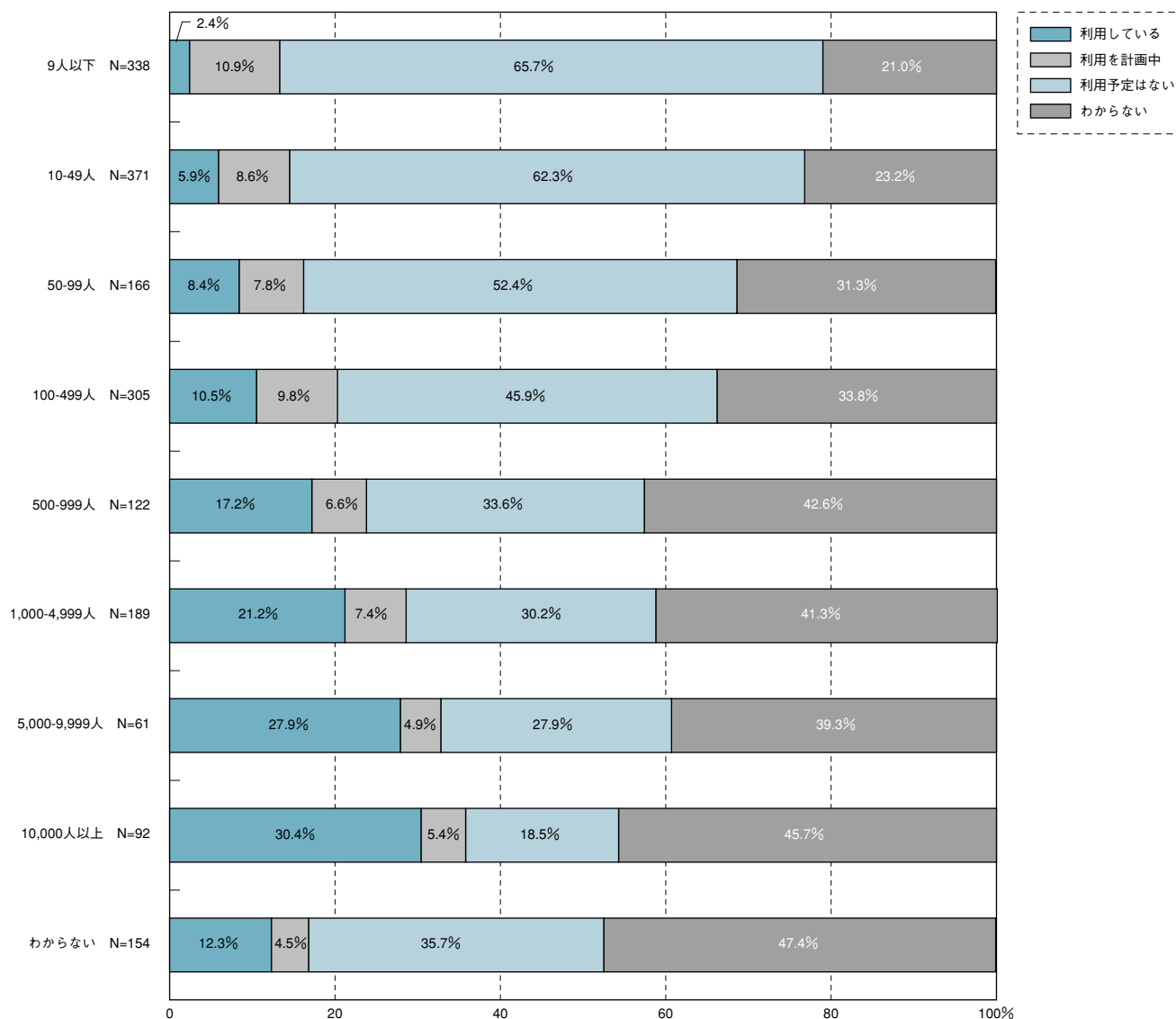
©Access Media /impress,2003

IP-VPNと異なり、インターネットを利用することからモバイルアクセスなどに向く反面、従来の自社専用線を代用するには信頼性や安全性の面で心理的な抵抗が残ることがやや低い普及率となって表われたのではないだろうか。それでも大企業では半数近くが既に利用している。IP-VPNより低価格だが、小規模企業では利用が進んでいない。

VPNと広域イーサネット

メトロイーサネットは大企業で着実に定着

資料3-1-20 従業員規模別 広域（メトロ）イーサネットサービスの利用有無 N=1,798



©Access Media /impress,2003

メトロイーサネットは、コストやサービスエリアの問題から、FTTHほどには普及していないが、大企業を中心に着実に定着しつつある様子がうかがえる。特に、10,000人以上の企業ではすでに30.4%が利用中、計画中が5.4%ある。

日本の普及状況

個人の利用実態

企業の利用実態

海外の普及状況



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp